

令和5年度 評価計画・評価から評定への総括方法

江戸川区立清新ふたば小学校

1 通知表の各教科の観点評価

(1) 国語

通知表の評価は「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」とするが、「思考・判断・表現」については内容が多岐にわたることから「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の3項目に分けて3段階で評価する。その評価を「A→3点、B→2点、C→1点」として合計点を求めて右のように総括し、その学期の「思考・判断・表現」の評価とし、C4th上に記録しておく。

各項目の評価	合計点	「思考・判断・表現」の評価
AAA	9	A
AAB	8	A
ABB、AAC	7	B
BBB、ABC	6	B
BBC、ACC	5	B
BCC	4	C
CCC	3	C

(2) 社会、算数、理科、音楽、図画工作、家庭、体育、外国語

「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点について、「A」「B」「C」の3段階で評価する。

(3) 読書科、外国語活動、総合的な学習の時間

各学期において、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点で文章にて評価する。読書科、総合的な学習の時間は、期間を集中して指導することから、指導を行わない学期が生じる。その際は斜線にて指導を行わなかった旨を伝える。

(4) 特別の教科 道徳

各学期において、「学習状況及び道徳性に係る成長の様子」の観点から文章にて評価する。

(5) 生活

文章にて評価する。各学期において指導要録作成に向けて、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3観点で評価を行い、C4th上において記録する。

2 指導要録の各教科の観点評価

(1) 国語、社会、算数、理科、生活、音楽、図画工作、家庭、体育、外国語

「A→3点、B→2点、C→1点」として合計点を求め、その点に応じて右表のように評価を決定する。

例 1学期A、2学期A、3学期A→9点→要録の観点評価はA
1学期B、2学期B、3学期C→5点→要録の観点評価はB

各学期の 評価例	合計点	要録の 評価
AAA	9	A
AAB	8	A
ABB、AAC	7	B
BBB、ABC	6	B
BBC、ACC	5	B
BCC	4	C
CCC	3	C

(2) 読書科、外国語活動、総合的な学習の時間、特別の教科 道徳

各学期の評価を鑑み、児童の状況が分かるように指導要録に総括する。

(3) 特別活動

学級活動、児童会活動、クラブ活動、学校行事について、以下の3点より評価、十分に達成されている(A)項目に「○」を付ける。

「望ましい人間関係を築こうとする。

集団の中で事故自己を生かして積極的に活動する。

集団の良さを知り、よりよい活動の仕方を理解している。」

※Excel 変換用ファイル (A 教務→要録→指導要録観点評価・評定→国語以外要録用、国語要録用)

3 各教科の観点評価から評定への総括方法

第3学年以上は国語、社会、算数、理科、音楽、図画工作、家庭、体育、外国語において、「A→3点、B→2点、C→1点」として合計点を求め、その点に応じて右表のように評定点を決定する。

例 AAA→9点→評定は3
BBC→5点→評定は2

評価例	合計点	評定
AAA	9	3
AAB	8	3
ABB、AAC	7	2
BBB、ABC	6	2
BBC、ACC	5	2
BCC	4	1
CCC	3	1